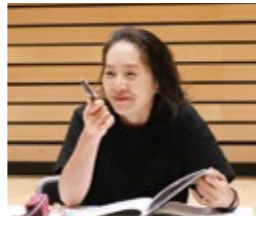




「芸術の地産地消」を掲げ、地元産でも質の高い演劇作品をつくることを目標に活動しています。メンバーの心意気と、観客の皆さんの応援が活動を支える原動力です。何より、お客さまの「地元で本格

的な演劇が見られて感動した」という声がうれしいです。また、県外から来られる方も増えており、地元の枠を超えた広がりを実感しています。芸術は決して敷居の高いものではなく、身近にあるべきものだと思います。演劇は、さまざまの人が集まり、力を合わせて一つの作品をつくり上げていくもので、コミュニケーション力や人間力を身に付けることができるといわれています。演劇に関わる人が増えることで、お互いを思いやる心が育まれ、より明るく住みやすい街につながっていくのではないかと思います。今後でもできる限り、私たちが上演していきたいです。



しらかわ演劇塾

代表 十文字 律子さん

表郷レクリエーションクラブは、1999年に発足し、市内6か所のサークルが所属しています。「仲間づくり」「健康維持」「社会活動への参加」を3本柱に、健康寿命の延伸を目標に活動しています。市内の福祉施設や高齢者サロン、表郷保健センターでのレクダンス、バランスボールを使った運動を実施しています。レクダンスは「いつでも・どこでも・誰でも」簡単な振り付けで踊りを楽しめるもので、座レクダンスは、座ったままでも上半身を動かせる参加できます。多くの方々と知り合いになれることや、訪問先で「楽しかった」「また来てほしい」と言っていたことが、うれしく、励みになります。今年で活動から26年を迎え、メンバーの平均年齢は80歳を超えました。年齢を重ねてから新しい仲間ができるのは素晴らしいことだと思います。レクダンスを通じ、他県の方と交流する機会ができました。その中で、改めて白河の魅力に再認識し、白河市民であることを誇りに思いました。これからもこの誇りを胸に活動を続けていきたいです。



表郷レクリエーションクラブ

会長 佐藤 義子さん

表郷レクリエーションクラブは、1999年に発足し、市内6か所のサークルが所属しています。「仲間づくり」「健康維持」「社会活動への参加」を3本柱に、健康寿命の延伸を目標に活動しています。市内の福祉施設や高齢者サロン、表郷保健センターでのレクダンス、バランスボールを使った運動を実施しています。レクダンスは「いつでも・どこでも・誰でも」簡単な

な振り付けで踊りを楽しめるもので、座レクダンスは、座ったままでも上半身を動かせる参加できます。多くの方々と知り合いになれることや、訪問先で「楽しかった」「また来てほしい」と言っていたことが、うれしく、励みになります。今年で活動から26年を迎え、メンバーの平均年齢は80歳を超えました。年齢を重ねてから新しい仲間ができるのは素晴らしいことだと思います。レクダンスを通じ、他県の方と交流する機会ができました。その中で、改めて白河の魅力に再認識し、白河市民であることを誇りに思いました。これからもこの誇りを胸に活動を続けていきたいです。



しらかわ演劇塾



表郷レクリエーションクラブ



合併20周年記念

ふるさとへの誇りと愛着を携えて



大信こだま太鼓



野出島地域活性化プロジェクト

先月と今月の2回にわたり、合併20周年記念を特集しています。今回は、市内で活動する団体の代表の方々と、二十歳の集い実行委員の皆さんの本市への想いなどをご紹介します。



ふるさとへの想い

本市では、多くの市民の方々が地域への誇りと愛着を持ち、さまざまな分野で活動を展開しながら、地域の発展を支えてきました。

今回は、市内各地域で活躍している4団体「しらかわ演劇塾」「表郷レクリエーションクラブ」「大信こだま太鼓」「野出島地域活性化プロジェクト」の代表の方々に、それぞれの団体の活動内容や想いを伺いました。

その中で伝わってきたのは、人と地域に想いを寄せて、地元を協力を得ながら活動を続けていること、そして、その活動の積み重ねが、人々の絆を深めるとともに、地域への愛着をさらに育む結果になっているということです。



小峰城や南湖公園など歴史と自然が調和し、人の温かさが感じられる白河市が大好きです。



大谷 純怜さん (本町)

自分の好きな街が、誰からも愛され、誇りに思える街になってほしいです。

周りへの感謝を忘れずに、支えてくれた人や故郷に恩返しできる大人を目指して、夢に向かって努力していきます。

小峰城や南湖公園などの歴史ある街並みや、提灯祭りなどのお祭りが大好きです。これからも、その歴史や伝統を守りながら、より良い市になってほしいと思います。



齋須 撞真さん (表郷下羽原)

二十歳になると、さまざまなことを自分の意思で行うことができるようになりますが、今まで考えていなかった新たな責任も増えると思うので責任感のある大人になりたいと思います。

白河市は小峰城や南湖神社など歴史的遺産が多く残っています。また、自然が豊かで交通の便もよく住みやすい街であると感じます。これからもっと活気のある街になってほしいです。



飯田 佑麻さん (借宿)


これから福島県の医療について学び、地域に貢献できる存在となれるように努力を続けていきたいです。

白河は歴史と豊かな自然、白河ラーメンが誇りです。南湖公園の「土民共榮」の精神を大切に、若い力が集う、未来へ躍進する活気ある交流拠点となってほしいです。




郷 鳳斗さん (鬼越)

白河で育まれた歴史と文化を胸に、一人の大人として成長します。「常に学び、行動し、感謝を忘れない」を誓い、地域に貢献できる人材となるのが私の夢です。

 **二十歳の瞳に映るふるさと**

合併により誕生した白河市と同様に、今年度20歳を迎える「二十歳の集い実行委員」の皆さんに、本市への想いや将来の夢・決意を伺いました。



私は歴史や自然、おいしい食べ物が豊かな白河市が大好きです。この素敵な魅力を守りつつ、人々の温かさや伝統を大切に、さらに活気あふれる街になってほしいと思います。



黒川 莉織さん (大信増見)

思いやりを大切に、人の気持ちに寄り添える大人になりたいです。初心を忘れずに、さまざまなことに挑戦し成長を続け、周りを笑顔にできる人を目指します。

白河市は歴史や文化が多く残っており、それらを大切にしている街です。これからもその歴史や文化を守っていくとともに、多くの人々に魅力が伝わってほしいと思います。



草野 心美さん (石切場)

二十歳という節目を迎え、これからは自由が増えるとともに、多くの責任も同時に背負うことになります。白河市で過ごした18年間の思い出を胸に、一人の大人として頑張っていきたいと思っています。

なんといっても白河ラーメンが最高です。さまざまなお店によって個性のある白河ラーメンを食べられることが、私が白河市を好きな理由の1つです。



水野谷 拓美さん (東栃本)

次の世代を担っていく今の10代の方たちが、安心して過ごしていけるような地域環境や職場環境を、今度は自分たちがつくれるように精進していきたいと思っています。

春の南湖公園は、桜が本当にきれいで、人も増えてにぎやかになるので、そこが白河市の一番好きなおところなんです。



邊見 れいらさん (泉田)

来年は4月から就職するため、仕事に早くなじめるよう、さまざまなことを覚える年にしたいと考えています。本格的な一人暮らしも始まるため、私生活も頑張りたいです。



旧信夫二小が、総合学習に和太鼓を取り入れ、発表会で演奏したのがきっかけとなり、2008年に保護者を中心として、大信こだま太鼓が発足しました。その後、学校を離れ、大信地域を拠点に活動を続けています。地域の祭りやイベントなどに参加していますが、地元の方々の期待もあり、演奏を披露できる機会が増えたことに感謝しています。多くの方々との出会いがあり「良かった」と元気を届けていきたいです。



大信こだま太鼓 代表 根本 ひとみさん

「よ」頑張ったね」と声をかけられることが励みになります。太鼓を通じて、県内外の団体とも交流を深めています。新たな出会いにより、考えさせられることもあり、今後もしっかりとつながりを大切にしていきたいです。



2010年、同じ志を持った仲間が集まり、野出島地域活性化プロジェクトを設立し、地域資源である農地・自然環境・文化財・人材を活用した地域づくりを進めています。遊休農地を活用し、菜種・小麦・そばを栽培しています。これらの畑は地域の景観を形成し、季節ごとに美しい風景を楽しむことができ、小学生が遠足で訪れています。収穫された作物を使って、6次化商品に取り組み、地域特産品「なたね油」のでじまうどん「野出島産そば粉」として加工販売しています。また、地元企業と連携し、そばパスタやお菓子などの原料として提供しています。



野出島地域 活性化プロジェクト 会長 本宮 直さん

これまでの活動を通じて、観光資源が少なかった野出島地域に年間1500人以上の方が訪れるようになりました。地域のことを知っているのは、その地域の方々です。市全体を活性化するためには、各地域の方々の力が欠かせないと感じています。